



1年生



## 向陽防災科学講座（ジオパーク）を実施しました！

4月20日（月）、1年生を対象に、「SSHオリエンテーション」&「向陽防災科学講座（ジオパーク）」を実施しました。和歌山県南紀熊野ジオパークセンターの本郷宙軌様に、「気候変動への適応策：サンゴ礁生態系を活用して防災対策に取り組む」と題して、自身がされてきた生態系活用型の防災・減災の研究からはじまり、和歌山県の課題や研究紹介等について具体的にお話いただきました。探究活動についても具体的にお話して下さったため、これから課題研究を開始する1年生にとって、大変有意義な時間になったと思います。以下、生徒の感想です。



- 何年も成果が得られるまで研究し続ける姿勢、自分から進んで行動する主体性など、これからの課題研究の参考にしたいと思います。
- 自然を使った防災や探究することも面白さを感じ、探究に興味が増えました。
- 自分も防災に関して興味があり、この講座を通じて「自分ももっと防災について深く学びたい」と感じた。自分の将来が少し鮮明になったような気がする。
- 防災について自分もできることはないか、これから考えていこうと思いました。
- 講座を終えて、串本の地形の成り立ちにも興味が増えた。

環境科学科1年生



## 和歌山市内河川水質調査を実施しました！

5月8日（金）、環境科学科1年生を対象に、「和歌山市内河川水質調査」を実施しました。この取組では、和歌山市内を流れる河川の水を採水し、検査することにより、河川の状態について考察していきます。また、この調査活動（フィールドワーク）を通じて、実験計画の立て方や調査方法、データの検証、考察方法について学ぶことを目的としています。市堀川、大門川、和歌川、和田川などの河川沿いの橋ごとに分かれ、河川の採水を行いました。その後、学校に戻り、パックテストにもよる各成分定量を行いました。今後はレポートの作成、発表を行います。また、6月19日（金）には和歌山大学教育学部の木村憲喜教授を講師として招聘し、SSH先端科学講座（化学）を実施する予定です。具体的には、今回採取した河川の水を用いて、DO測定を行います。

